

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成30（2018）年度採択分）
「新規出版社移行および各種取組によるアジアセラミックス学協会との連携ジャーナル情報発信力強化」
（課題番号：18HP2011）

学術団体名：公益社団法人日本セラミックス協会
学術刊行物の名称：Journal of Asian Ceramic Societies
事業期間：平成30（2018）年度～令和4（2022）年度

1 取組の概要

・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本取組は、Journal of Asian Ceramic Societiesをセラミックス科学で世界的に権威ある雑誌に成長させ、日本セラミックス協会を介したアジア圏の国際情報発信強化を行う。プラットフォームの移管と招待した著者によるReviewの掲載、新論文種別の新設、優秀論文賞の新設、英文校閲サービスの提供を実施する。また、アジアセラミックス学協会との連携をさらに強化して編集体制を強化する。

（内容）

・応募時に設定した取組の目標・評価指標

- ・ 中間評価時点でのアクセス数を2016年の1.5倍
- ・ 助成終了時にはアクセス数を2016年の2.0倍
- ・ 助成終了時のImpact Factorを2.0以上

2 目標の達成状況

・現在までの目標の達成状況

- ・ アクセス数は開始前の2017年の112,205から、2019年に132,348と1.1倍に増えた。
- ・ 2019年のImpact Factorは2.653となり、2.0以上という目標を達成した。
- ・ 投稿数は2016年から2倍以上となった。
- ・ 投稿数は2019年のImpact Factorがついたことにより、2020年は現時点で2016年から比べて2倍となっており、海外（特に中国、韓国、トルコなど）からの投稿が倍増している。

・今後の計画

- ・ 国際会議での招待講演者にReview執筆を依頼し、注目度の高い論文を掲載する。
- ・ 引き続き英文校閲を実施して掲載論文の質的向上をはかる。
- ・ インドのジャーナルと連携してTaylor & Francisサイト上で両誌の注目すべき論文を共有することで、相乗効果を生むような企画を計画している。

